

【学校名】	日田市立高瀬小学校	【教育相談コーディネーター名】	田邊 剛
-------	-----------	-----------------	------

**実態(課題)の把握**  
 (1) 自校のいじめ・不登校等に関する状況(複数年度)について

いじめの認知件数		R5	R6	R7
自校	1000人当たり	191件	222件	322件
大分県	1000人当たり	76.0	67.8件	
全国平均	1000人当たり	57.9%	61.3件	

解消率		R5	R6	R7
自校		73.0%	37.8%	77.5%
大分県		74.4%	73.8%	
全国平均		77.5%	76.1%	

不登校生徒数		R5	R6	R7
自校	1000人当たり	5人	11人	11人
大分県	1000人当たり	18.8人	20.9人	
全国平均	1000人当たり	21.4人	23.0人	

	新規	継続
R5	1人	0人
R6	1人	1人
R7	0人	2人

(2) 自校の課題(いじめ・不登校・貧困・虐待等)について  
 現状: 言葉によるトラブルが多い。長期欠席傾向の児童がいる。  
 課題: 相手の思いや立場を理解する経験の充実

① 重点目標	立場を変えて考え、互いを尊重して関わる
② 達成指標	(1) 児童質問紙「友だちの気持ちを考えて行動」80%以上 (2) 児童質問紙「自分のよさが分かる」80%以上 (3) 児童質問紙「学校が好き」80%以上
③ 重点的取組	(1) 未然防止 スマイルタイム(SGE)、ホウホウレター(よさ見つけ)、人権集会、縦割り班活動の充実 (2) 早期発見 児童アンケート、SCによる教育相談、いじめ・不登校対策委員会の定期的実施 (3) 解決支援 SC・SSW等の参加を得た校内委員会の定例開催、必要に応じたケース会議
④ 取組指標	(1) 未然防止 スマイルタイム(毎週木曜日)、ホウホウレター(月1回) 人権集会(学期1回以上)、縦割り班活動(高瀬っ子フェスティバル等、年間計画) (2) 早期発見 児童アンケート(年5回)、SCによる教育相談(全校児童) いじめ対策委員会(月1回)、不登校対策委員会(月1回) (3) 解決支援 SC・SSW等の参加を得た校内委員会(学期1回)

**組織運営と検証改善(検証頻度と検証方法)**

<組織運営>  
 いじめ対策委員会(定例会): 職員会議で全教職員で協議  
 不登校対策委員会(定例会): 校長・教頭・教務・教育相談CN・養教・該当担任で協議

<検証改善>  
 年間5回実施(5月、7月、10月、12月、3月)

**SC、SSW、地域児童生徒支援コーディネーターの活用方法について**

<SC、SSW>

- ・SCを週1回の定期訪問に頻度拡大。
- ・全校児童を対象にSCによる個人面談を実施。教室状況に応じて実施学年の順番を決定。
- ・管理職及び教育相談CNが情報を共有、担任を入れて支援の方法を協議。

<地域児童生徒支援コーディネーター>

- ・地域児童生徒支援コーディネーターの参加を得た不登校対策委員会を実施。
- ・不登校の未然防止及び支援対策について具体的な方法を協議。